

BATTLE OF OKINAWA AND THE WORLD FROM A VIEWPOINT OF CHILD SOLDIER

6月23日(金)

子どもも兵「からみめる」 沖縄戦と世界の国々

中学生まで無料
高校生以上
1,000円

未就学児不可・事前予約不要

時間：10時-11時15分 (9時半開場)

会場：沖縄県立博物館・美術館 2階講堂

講師：鬼丸昌也氏 認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事

講師プロフィール

鬼丸 昌也 ONIMARU MASAYA

特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス理事・創始者。1979年、福岡県生まれ。立命館大学法学部卒。高校在学中にアリヤラト博士(サルボダヤ運動創始者/スリランカ)と出逢い、『すべての人に未来をつくり出す能力がある』と教えられる。2001年、初めてカンボジアを訪れ、地雷被害の現状を知り、『すべての活動はまず『伝える』ことから』と講演活動を始める。同年10月、大学在学中に『全ての生命が安心して生活できる社会の実現』をめざす「テラ・ルネッサンス」設立。2002年、(社)日本青年会議所人間力大賞受賞。地雷、子ども兵や平和問題を伝える講演活動は、学校、企業、行政などで年100回以上。遠い国の話を身近に感じさせ、一人ひとりに未来をつくる能力があると訴えかける講演に共感が広がっている。

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

www.terra-r.jp

鬼丸昌也氏サイト

onimarumasaya.com/



参考書籍 左から

『ぼくは13歳。職業、兵士。』

鬼丸昌也・小川真吾著(合同出版)

『僕が学んだゼロから始める世界の変え方』

鬼丸昌也著(扶桑社)

『あの日、僕は戦場で、少年兵の告白』

NHKスペシャル製作班(新日本出版社)

【主催者よりご挨拶】

私は4歳と7歳の子をもつ、屋敷名美和と申します。県民にとって大切な日である「慰霊の日」を有意義に過ごすため、当企画を立案しました。以前『ぼくは13歳。職業、兵士』という本を読み、海外では何の罪もない子どもが、兵士として戦闘の最前線で戦わされている実態を知り、大きな衝撃を受けました。同様に沖縄戦当時も護郷隊という少年兵達が実在しました。もし自分の子が戦場に駆り出されたら、あるいは子ども自身が兵士として戦わされることになったら、と想像することで戦争がリアルに感じられるはず。さげすみごとではない「戦争」の本質を知って、初めて「平和」の意味がわかるのではないのでしょうか。基地問題に揺れる沖縄において、平和な社会のためにできることを、親子で考えたいと思います。

623
プロジェクト

当企画(慰霊の日の6月23日をプロジェクト名にしました)の実行委員会を発足します。チラシの配布や宣伝、当日の運営など多くの方のサポートが必要です。趣旨に賛同いただける方はぜひご連絡ください。屋敷名 ☎ 090-7292-3033